

教育の質保証チェックシート
(2024年度)

東京家政学院大学

担当部局(学部・学科・研究科)	
-----------------	--

教育課程・学修成果

ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育課程編成、当該教育課程における学生の学修方法・学修過程の在り方等を具体的に示すこと並びに、「学生が何を身に付けたか」という観点を重視して学生の学修成果の把握・評価を行うことは教育の質を高めるためには不可欠なことです。令和6年度組織レベルの自己点検・評価については、従来実施していた「教育の質保証チェックシート」の項目から、学生の学修成果（成長値）に力点を置き、「ファカルティ・ディベロップメント（FD）」「成績評価」および「学修成果」に焦点化しています。

【回答方法】

大学の取組の有効性・達成度を重視する評価とするために、「いいえ」の回答については、「全く対応していない」「計画中（検討中）」「計画は終了し実行している途中である」の項目を設けています。「いいえ」の回答については、今後の見直し予定等今後の方向性についての記載をお願いします。また、学生の意見を取り入れた評価及び、特色ある取り組みについてもご回答ください。

(1) ファカルティ・ディベロップメント（FD）

①確認項目

1. 評価項目	授業の内容や方法の改善及び、研究や社会貢献活動の活性化を図るためのFDを組織的に実施している。
2. 主な説明項目	教員の教育研究能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につなげるためのFDの取組みが組織的に実施されていること
3. 説明のための取組み事例	<p>教員相互による授業参観・授業評価を実施している。</p> <p>授業内容・方法の改善のためのワークショップや授業検討会を実施している。</p> <p>教育研究能力の向上や授業内容・方法の改善に必要な知識・技能を獲得するための研修会・講演会等を実施している。</p>
4. 根拠資料・データ	<p>教員相互による授業参観・授業評価を実施していることが確認できる資料</p> <p>ワークショップや授業検討会、研修会・講演会等の開催案内</p> <p>学生からの意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料</p>

②チェック項目

1	部局（学部・学科・研究科）独自で実施している「教育研究」や「社会貢献」に係るFD活動の概要（実施内容・方法、参加者数等）を記載してください。実施していない場合は、今後の計画・展望等について記載してください。

2	部局独自の「教育研究」や「社会貢献」に係るFD活動の参加率を上げるために実施している取組みがありましたら、その概要について記載してください。
3	ヒアリングなどを通して学生の意見を聞き取る機会を設け、授業改善に活かしている取組みがありましたら、その概要について記載してください。

③評価結果（内部質保証推進委員会から）

総評
課題事項

(2) 成績評価

①確認項目

1. 評価項目
カリキュラム・ポリシーに則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
2. 主な説明項目
成績評価基準をディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに則して定められている学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）と整合性をもって、組織として策定していること
成績評価基準を学生に周知していること
成績評価基準に則り、各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること
3. 説明のための取組み事例
各教員による適切な成績評価を促すために、組織的な取組みを実施している。
成績評価基準をウェブサイトや学生向けの刊行物で周知している。
成績評価の分布の点検を組織的に実施している。
GPA を活用した成績評価を実施している。
4. 根拠資料・データ
成績評価基準
学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配付資料等
成績評価の分布表

GPA 制度の目的と実施状況について分かる資料
学生からの意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料

②チェック項目 ※「はい」・「計画終了（実施途中）」 「計画（検討）中」 「対応していない」のいずれかに「○[記号]」をご記入ください。

1	成績評価に関する次の記述に回答してください。	
	・成績評価基準について、科目の到達目標を考慮した判断基準を組織として定めている。	はい
		計画終了（実施途中）
		計画（検討）中
		対応していない
	・学生に対して、成績評価基準を刊行物の配付、ウェブサイトへの掲載等の方法により周知している。	はい
		計画終了（実施途中）
		計画（検討）中
		対応していない
	・学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）に照らして成績評価の分布の点検を組織的に実施している。	はい
		計画終了（実施途中）
		計画（検討）中
		対応していない
	・個人指導等が中心となる科目では、成績評価の客観性を担保するための措置を実施している。	はい
		計画終了（実施途中）
		計画（検討）中
		対応していない
	・成績評価基準とは別に、成績評価分布のガイドラインの策定や答案の返却、模範解答あるいは採点基準の提示等を行っている。	はい
		計画終了（実施途中）
		計画（検討）中
		対応していない
2	GPA を活用している取組み（卒業判定、進級判定など）がありましたら、その概要を記載してください。	
3	成績評価について「チェック項目1」で「はい」以外となった項目の見直し予定を記載してください。	

4	ヒアリングなどを通して学生の意見を聞き取る機会を設け、成績評価に活かしている取組みがありましたら、その概要について記載してください。

③評価結果（内部質保証推進委員会から）

総評
課題事項

(3) 学修成果

①確認項目

1. 評価項目
大学等の目的及びディプロマ・ポリシーに則して、適切な学修成果が得られていること
2. 主な説明項目
標準修業年限内の卒業（修了）、資格取得等の状況が、大学等の目的及びディプロマ・ポリシーに則した状況であること
就職及び進学の様子が、大学等の目的及びディプロマ・ポリシーに則した状況であること
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及びディプロマ・ポリシーに則した学修効果が得られていること
学修成果の点検・評価結果を、教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしていること
3. 説明のための取組み事例
標準修業年限内の卒業（修了）率、資格取得の状況、進路状況等を、学部（学科）・研究科として組織的に点検し、学修成果の把握・評価に取り組んでいる。
学生アンケートに基づき、学修行動や学修成果の把握・評価を行っている。
学修成果の点検・評価結果を教育内容・方法及び学修指導の改善のために活用している。
4. 根拠資料・データ
標準修業年限内の卒業（修了）率
資格の取得者数が確認できる資料、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料
就職率

②チェック項目 ※「はい」・「計画終了（実施途中）」 「計画（検討）中」 「対応していない」のいずれかに、「○[記号]」をご記入ください。

1	学修成果に関する次の記述に回答してください。 ・標準修業年限内の卒業（修了）率、資格取得の状況、進路状況等を、学部（学科）・研究科として確認し、学修成果の把握・評価に取り組んでいる。	はい
		計画終了（実施途中）
		計画（検討）中
		対応していない
1	・就職率（進学率）の状況、主な就職先（進学先）を確認し、学修成果の把握・評価に取り組んでいる。	はい
		計画終了（実施途中）
		計画（検討）中
		対応していない
	・卒業（修了）時の学生アンケートにより、卒業（修了）時点の学生に対し、大学等の目的及びディプロマ・ポリシーに則した学修成果が得られていることを確認している。	はい
		計画終了（実施途中）
		計画（検討）中
		対応していない
	・学修成果を可視化している。	はい
		計画終了（実施途中）
		計画（検討）中
		対応していない
・学修成果の点検・評価結果を教育内容・方法及び学修指導の改善のために活用している。	はい	
	計画終了（実施途中）	
	計画（検討）中	
	対応していない	
・ディプロマサプリメント(学位証書や成績証明書の補足資料)など、各学生が修得した知識や能力等を明らかにするための取組みを実施している。	はい	
	計画終了（実施途中）	
	計画（検討）中	
	対応していない	
2	学部（学科）・研究科独自に行っているアンケート調査等、学修成果把握のために実施している取組みについて、その概要を具体的に記載してください。行っていない場合は、今後の取組みの見通しについて記載してください。	

3	資格の取得者数、各コンペティションの受賞状況について記載してください。
4	学生の要望の聞き取りとその活用について、組織として独自に取り組んでいることがあれば記載してください。
5	学修成果について「チェック項目1」で「はい」以外となった項目の見直し予定を記載してください。

③評価結果（内部質保証推進委員会から）

総評	
課題事項	

（4）特色ある取組みについて

学科で実施している「特色ある取組み」について、成果が出ている内容を具体的に記載してください。